

**江東区環境基本計画改定専門委員会**  
**第1回地球温暖化対策検討部会 議事録**

日時：令和元年7月9日（火） 10：00～11：10

場所：江東区文化センター5階 第6会議室

**出席者** < >は欠席

部会長 長谷川 猛（元東京都環境局理事）

委員 <村上 公哉（芝浦工業大学教授）>

中塚 千恵（東京ガス株式会社東部支店支店長）

安田奈穂美（東京電力パワーグリッド株式会社江東支社渉外担当次長）

増子 良男（江東区立中学校 PTA 連合会）

岡本 一恵（区民公募委員）

吉野 正則（温暖化対策課長）

鳥谷部森夫（オリンピック・パラリンピック推進課長）

（代理 連携・調整係 安齋 圭）

桐越 智哉（経済課長）

（代理 雇用支援担当係長 西 博）

河野 佳幸（清掃リサイクル課長）

青山 陽一（清掃事務所長）

伊藤 秀一（教育委員会事務局指導室長）

**議 題**

- （1）専門委員会の進め方について
- （2）現行計画における課題等について
- （3）基本計画改定の間接まとめ（案）について

**事前配布資料**

- ・資料1 専門委員会の進め方について
- ・資料2 江東区環境基本計画の評価結果
- ・資料3 江東区環境基本計画（後期）間接まとめ（案）
- ・資料4 江東区環境基本計画（後期）間接まとめ（案）の改定概要
- ・資料5 KOTO 低炭素プランの新たな削減目標について

**机上配布資料**

地球温暖化対策検討部会委員名簿  
江東区環境基本計画（本書・概要版）  
意見記入シート

## 1. 開会

## 2. 事務局挨拶

事務局挨拶、出欠確認（欠席 1 名）、資料確認

## 3. 部会長挨拶

委員自己紹介

## 4. 議事

### (1) 専門委員会の進め方について

事務局より、資料 1 に基づき、専門委員会の位置付け、専門委員会の役割等について説明

部会長 : 審議事項の一つに「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会レガシーの継承」とあるが、具体的にはどのような内容を想定しているのか。

事務局 : 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では江東区内でたくさんの競技が行われることになっており、それをどう残していくかについてご意見をいただき、環境基本計画に反映させていきたいと考えている。

部会長 : 議題 1 について、他に質問、意見等がなければ了承としたい。

(一同より異議はなく、了承)

### (2) 現行計画における課題等について

事務局より、資料 2 に基づき、江東区環境基本計画における管理指標の評価結果について説明

事務局 : 1 頁の進捗状況の区分について、目標達成率 10% を境に区切っている理由は何か。

事務局 : それぞれの指標について目標達成率を算出したうえで、より傾向が見られる区分として 10% と設定している。

事務局 : 1 頁の評価の区分について、目標達成率が 50% 以上は A~C の 3 区分であるのに対して、50% 未満は D、E の 2 区分にしている理由は何か。

事務局 : 全体のバランスを見て設定している。

事務局 : 2 頁の総括について、A 及び B の割合が 6 割程度となっていることから一定の成果が得られていると評価している一方、D 及び E については 50% 未満として切ってしまうことで適切な評価ができるのか疑問である。もう少し中間的なところで評価の仕方があるのでは

ないか。

部会長 : 進捗状況の区分と評価の区分について、合理的な説明ができるかということだと思う。

事務局 : ご指摘を踏まえ、適切な評価ができるよう検討する。

部会委員 : 数字の羅列では全くイメージできないため、もう少し分かりやすくしてほしい。

事務局 : 計画である以上、目標は数字で出さなければいけないため、評価の際には数字は避けては通れないものだと考えている。なお、計画の本文については分かりやすい表現に努めていく。

部会長 : 3 頁の江東区域のエネルギー消費量については、人口が増加しているにもかかわらず達成となっている。要因としては、新築の建物では省エネ性能が向上していること、既存の建物でも省エネが進んできていること、エネルギー事業者の努力等が考えられるが、そのような達成できた理由についても分かりやすく書いてほしい。

事務局 : 検討する。

部会長 : 議題 2 について、他に質問、意見等がなければ了承としたい。

(一同より異議はなく、了承)

### (3) 基本計画改定の中間まとめ(案)について

事務局より、資料 3~5 に基づき、江東区環境基本計画(後期)中間まとめ(案)の概要、KOTO 低炭素プランの新たな削減目標の設定方法等について説明

事務局 : 資料 3 の 15 頁下段から 16 頁にかけての文章が分かりにくいいため、CO<sub>2</sub> 排出量やエネルギー消費量の推移とそれらの増減要因について端的に記載してほしい。

事務局 : ご指摘を踏まえ、文章を修正する。

事務局 : 資料 3 の 17 頁の新たな目標設定の必要性について、国や都において温室効果ガス排出量に関する新たな削減目標が設定されたことから、江東区においても CO<sub>2</sub> 排出量に関する新たな削減目標を設定するとあるが、国や都では温室効果ガスを対象としているにもかかわらず江東区では CO<sub>2</sub> のみを対象とする理由について記載してほしい。

事務局 : 江東区では CO<sub>2</sub> が全体の 9 割以上を占めること、区民や事業者の取り組みによって削減が可能なガスであることから CO<sub>2</sub> のみを対象としており、このことについて記載を追加する。

事務局 : 資料 3 の 17 頁下段から 18 頁にかけての削減目標設定の考え方について、中期目標の設定については都の目標を踏まえているが、長期的な視点については国の目標を踏まえていることについて、整合がとれるようにしてほしい。

- 事務局 : ご指摘を踏まえ、修正する。
- 事務局 : 資料 5 の 6 頁の廃棄物部門の削減目標について、「一般廃棄物処理基本計画」で示されているリサイクルによる温室効果ガスの削減効果との整合はどのように考えているのか。
- 事務局 : 「一般廃棄物処理基本計画」における考え方を確認する。
- 部会長 : 2030 年度の削減目標について、南北交通の充実によりエネルギー消費量は減少すると思われる。関連計画との関係もあると思うが、記載できるのであれば記載してはどうか。
- 事務局 : 現在策定中の「江東区長期計画」を踏まえ、記載できるか検討する。
- 部会長 : 近年、マイクロプラスチックが問題となっていることから、レジ袋の削減、紙や木による代替、生分解性プラスチックの普及といった一般的な内容や、江東区として商店街等と連携してできる取り組みについて記載がないのはおかしいのではないかと。
- 部会委員 : 江東区では、以前からマイバッグキャンペーン等を実施してきている。近年話題となっている海洋プラスチックについては、非常に大きな問題であり、一つの区だけの取り組みでは難しい部分もあるが、レジ袋を含め不必要な物はもらわないといった意識啓発に引き続き努めていく。しかし、具体的な数値目標の設定については難しいと考えている。
- 事務局 : 現行計画策定後に顕在化してきている問題であるため、計画の中で触れていきたいと考えているが、トピック等を含めどのような記載方法が良いかは今後検討していく。
- 部会長 : 建物の断熱化や省エネ化によって原単位が下がってきているものと思われるが、区として環境アセスメントにおける意見や建築確認の際の指導等を行っているのであれば、原単位の低減にも資する取り組みとして記載してはどうか。
- 事務局 : 現状でも環境アセスメントにおける区長意見のほか、マンションの建築の際には LED やエネファーム等の省エネ設備の導入に対する要望は行っているため、記載については検討する。
- 部会長 : 区庁舎の LED 化を進めるという話があったが、数値目標を設定することは難しいか。
- 事務局 : 働きかけはしているが、なかなか難しい。
- 部会委員 : 資料 3 の 88 頁の小学校 4 年生を対象とした「ふれあい環境学習」や小学校 5・6 年生を対象とした「地球温暖化出前授業」について、現状ではどのような形で実施しているのか。
- 事務局 : 「地球温暖化出前授業」については、希望する学校に対して、温暖化対策課職員と東京ガスとで一緒に出向き、授業の中で環境に関する学習会を実施している。「ふれあい環境学習」についても、校長会に出向き、希望する学校を募って実施している。
- 部会委員 : 「ふれあい環境学習」について、平成 30 年度には区内 46 の小学校・

- 義務教育学校のうち 30 校で実施し、2,626 名の参加があった。
- 部会委員：学校の現場では、一つの点の学習にならないよう広く環境教育・環境学習を進めている。
- 部会長：東京都環境公社と連携して省エネ診断を実施してはどうか。
- 事務局：区有施設についてはエネルギー消費量を報告させており、その中で成績が悪い施設を毎年度 2 施設選んで省エネ診断を実施している。
- 部会長：議題 3 について、他に質問、意見等がなければ了承としたい。

(一同より異議はなく、了承)

以上